

一般財団法人神戸すまいまちづくり公社
平成 29 年度第 5 回評議員会会議録

1. 開催日時

平成 30 年 3 月 27 日（火）午後 1 時 30 分から午後 2 時 40 分まで

2. 会 場

サンパル 5 階 当公社会議室

3. 評議員現在数及び定足数並びに出席評議員数及びその氏名

評議員現在数 5 名 定足数 5 名

出席評議員数 5 名

出席した評議員の氏名 石丸 鐵太郎、加登 豊、梶木 典子、
安田 義秀、岩橋 哲哉

4. 出席理事の役職及び氏名

理事長 鳥居 聡、専務理事 澤田 靖、常務理事 松永 裕行
理事 谷口 貴成

5. 議長兼議事録作成者の氏名 加登 豊

6. 評議員会の議事の経過の要領及びその結果

(1) 定足数の確認

(2) 議長の選出

(3) 報告事項

① 平成 29 年度補正予算について

② 平成 30 年度事業計画及び予算について

意見については別紙 1 のとおりである。

③（仮称）北鈴蘭台駅前再開発株式会社への出資について

④ 組織改正について

意見については別紙 2 のとおりである。

⑤ 公社 P R 映像完成について

(4) 閉 会

以上をもって議案の審議等を終了したので、午後 2 時 40 分に議長は閉会
を宣し、解散した。

報告事項②に対する意見

評議員：

開港150周年。次の課題は、六甲山の活性化。神戸の資産は海と山、山の
にぎわいにも力を入れてほしい。

事務局：

六甲山、摩耶山活性化事業は、行政だけではなく、事業者の協力・支援が必要。RW等については赤字が続いており、単独事業では困難なため、六甲山再生での全体的な取り組みの中で、どのような活用法があるか議論していただきたい。

評議員：

アメリカには特養などはなく、シニアが住むコミュニティとしての開発が進んでいる。お年寄が集まっているというよりは、親がそこに住んでいるので安心というコミュニティがある。公社も利益をあげて、そのようなコミュニティ的な建物を整備してほしい。

海外では、ゴルフ場を披露宴会場など他目的での利用する検討や、業務の一部をリタイヤしたボランティアにまかせ、特典としてハーフを回らせるなどを行い、人件費削減を行っている。

日本は、海外から良いところを学ぶのは得意であった。良い知恵は直ぐに出ない。良い先行事例たくさんある、異業種から良いことを学んでほしい。現在の市との距離感が非常に重要。公社で育てて、市に大きくしてもらってほしい。

評議員：

・団地の共用部分の活用にあたり、困難な話ではあるが、市と協議しながら、もう一步踏み込んで検討を進め、地域の魅力発信をしてほしい。

事務局：

公社住宅の共用部分であれば、ダイレクトに施行できるので問題はない。地域の魅力発信は非常に大事だと思っているが、もう一步踏み込んで市施設の共用部分をさわると、公社単独では無理で、市と協力しながら進めていく必要がある。

報告事項④に対する意見

評議員：

役割を終えた部や課を廃止するのは出来そうで出来ないこと。即断実行されるのは公社の良い点。気を付けないといけないのは、新しい組織を作っただけでは問題解決にならない。新しい部署が機能をするような働きかけが重要。